

◆2022年5月の新刊

日本キリスト教団出版局

『季刊 教師の友』連載「子どもたちからのメッセージ」を単行本化

羽をやすめるとまり木で

「青少年の居場所 Kiitos」から

しら は た ま き
白旗真生 著

1949年山形県酒田市生まれ。音大を卒業後、ピアノ教室を主宰し、子どもたちと関わる。1997年ルーテル学院大学に入学し、心理学を専攻。2007年より、東京都調布にある中高生の児童館「調布市青少年ステーション CAPS」の

相談員として勤務。2010年「青少年の居場所 Kiitos」を設立、主宰し、現在に至る。

生きづらさやさまざまな事情をかかえた若者があつまる場所、「青少年の居場所 Kiitos (キートス)」。その主宰者である著者が、キートスで出会う一人ひとりと深く関わるなかで感じたことを綴る。精神科医・石丸昌彦氏との対談「子どもたちの家族として」も収録。

四六判・並製・112頁・定価1,430円 (本体1,300円+税)

ISBN978-4-8184-1109-8 C0016

目次

まえがき

希望の光に向かって
それでも手を離さない
ともに社会に向き合って
ぬくもりゆえの混乱
自分は、自分!

力強く生きる
決断がもたらしたもの
自立して生きるために

関わりのなかでの気づき
生きる力
車でのひととき

やっと流れた涙
ふれあいとぬくもり
信じて待つこと
自分の心が見えない
背伸びしなくていいよ
子どもたちから教えられること

対談 子どもたちの家族として (白旗真生×石丸昌彦)

あとがき



買切案内

2022年6月1日オンデマンド化

日本キリスト教団出版局

キリスト教音楽の歴史

初代教会からJ. S. バッハまで

かなざわまさかた

金澤正剛 著

1934年東京生まれ。1966年ハーヴァード大学大学院博士課程終了（音楽学）。国際基督教大学、東京藝術大学、東京音楽大学、エリザベト音楽大学などの講師、ハーヴァード大学イタリア・ルネサンス

研究所の研究員、アンティオク及びアールハム大学の客員教授を務めた後、1982年に国際基督教大学教授となり、同大学宗教音楽センター所長を兼任、2004年退職後は名誉教授。2022年現在、日本リユート協会、日本イタリア古楽協会、日本ヘンデル協会会長。

今日隆盛を極めているヨーロッパ音楽を育んできたのは、キリスト教会である。キリスト教音楽の歴史は、ヨーロッパのみならず、人間の文化の歴史でもある。初代教会の音楽から説き起こし、バッハに至る1500年に及ぶ変遷とそれを支えた精神史を叙述する。

A5判・並製・406頁・定価5,720円（本体5,200円＋税）

ISBN978-4-8184-5130-8 C1073

【注】オンデマンド化に伴い上製から並製に変更しています。

目次

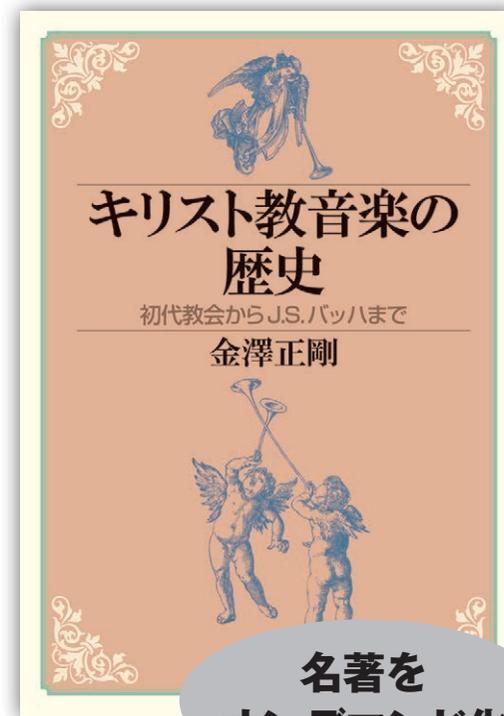
プロローグ 聖書における音楽

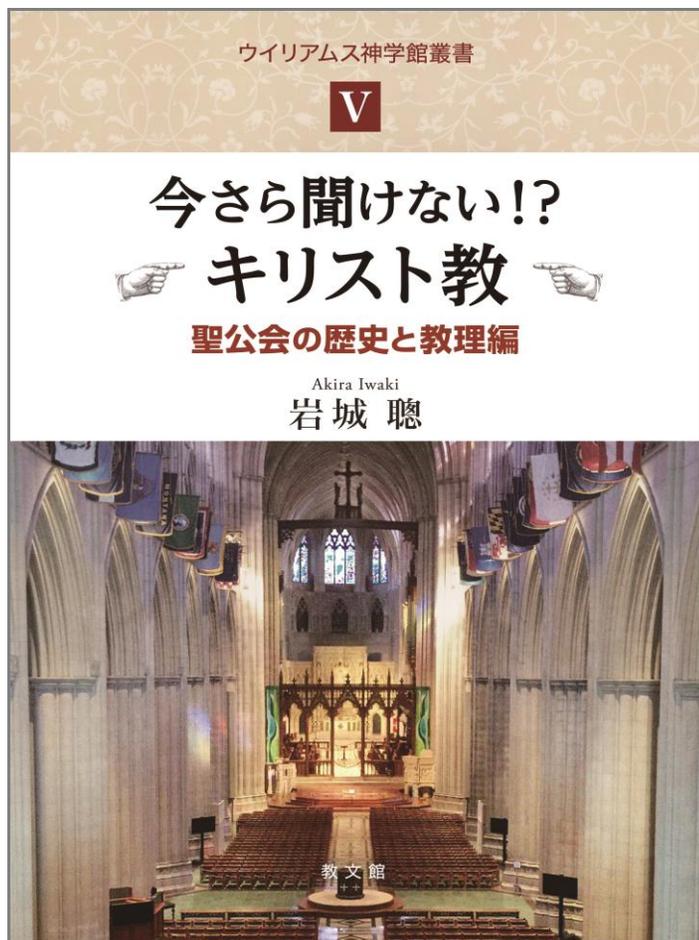
- 第1章 初期キリスト教会の音楽
- 第2章 ローマ教会とグレゴリオ聖歌の成立
- 第3章 グレゴリオ聖歌の変容——トロープスとオルガナム
- 第4章 中世盛期のポリフォニーと宗教歌曲

- 第5章 中世からルネサンスへ
- 第6章 ルネサンス初期の教会音楽
- 第7章 ルネサンス盛期の教会音楽
- 第8章 宗教改革とその波紋
- 第9章 もうひとつの宗教改革
- 第10章 バロックへの道

- 第11章 バロック期のイタリア
- 第12章 バロック期のフランスとイングランド
- 第13章 バロック期のドイツ

あとがき





ウィリアムス神学館叢書

V

今さら聞けない!?

キリスト教

聖公会の歴史と教理編

Akira Iwaki

岩城 聰

教文館

ウィリアムス神学館叢書V

今さら聞けない!?

キリスト教 聖公会の歴史と教理編

岩城 聰 著

四六判・並製・240頁 定価1,980円（本体1,800円+税）

ISBN 978-4-7642-9994-8 C1016

古代からの歴史、神学、現代の活動まで
聖公会を丸ごと紹介する!!

主教制とともに信徒の同意を重視する〈実践の共同体〉とも言うべき
聖公会（アングリカン・コミュニオン）。

その特徴的な思想「ヴィア・メディア（中間の道）」はいかに形成され、
どのように実践されているか、最新の動向も交えて解説する。

目次より

歴史編 / 教理編

付録 インجلترا教会「宗教簡条」、通称「三十九簡条」（全文）
海外宣教会の日本宣教と教区の成立
日本聖公会の教区（地図）
世界の聖公会（アングリカン・コミュニオン）（地図）

著者 岩城 聰（いわき・あきら）

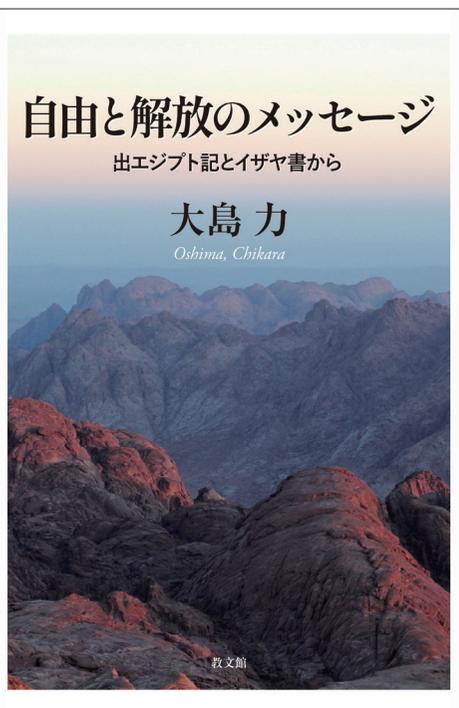
日本聖公会大阪教区退職司祭。翻訳家。プール学院大学チャプレン、ウィリアムス神学館教授ならびに、神学教理委員、正義と平和委員など日本聖公会管区諸委員を歴任。著書に『聖公会の教会問答』（聖公会出版、2013）、訳書にマーク・チャップマン『聖公会物語——英国国教会から世界へ』（監訳、かんよう出版、2013）、ディヴッド・L・ホームズ『アメリカ聖公会小史』（かんよう出版、2018）、ナイル・アティーク『サビールの祈り——パレスチナ解放の神学』（教文館、2019）ほか多数。



自由と解放のメッセージ

出エジプト記とイザヤ書から

大島 力❖著



見よ、新しいことをわたしは行う!

抑圧からの解放は、小さな命を守る行動から始まった——。
震災、コロナ、戦争……、国内外に危機感が漂う今こそ聴くべき言葉がここに!

この説教集では、出エジプト記に記されている解放のストーリーを取り上げ、それが現代において何を語りかけているかを探っていきます。また、その出エジプトという救いの出来事が、バビロン捕囚期、そしてそれ以降の預言者たちによってどのように受け止められたかに注目をします。具体的には「第二イザヤ」(40-55章)、そして「第三イザヤ」(56-66章)のメッセージを、現代に語りかける神の言葉として読んでいきます。(はじめにより)

❖著者紹介 大島 力 1953年東京都生まれ。東北大学卒業、東京神学大学神学部および大学院博士課程前期修了、同大学院博士課程後期単位取得済退学。日本基督教団石神井教会牧師、青山学院大学宗教主任・経済学部教授を経て、現在、青山学院大学名誉教授。著書 『預言者の信仰』、『聖書は何を語るか』、『旧約聖書と現代』、『イザヤ書は一冊の書物か?』、『新版 総説 旧約聖書』(共編著)、『旧約聖書と説教』(共著)、『聖書人物おもしろ図鑑 旧約編』(監修)、『聖書の中の祈り』、『ここが変わった! 「聖書協会共同訳」 旧約編』(共編著)ほか。

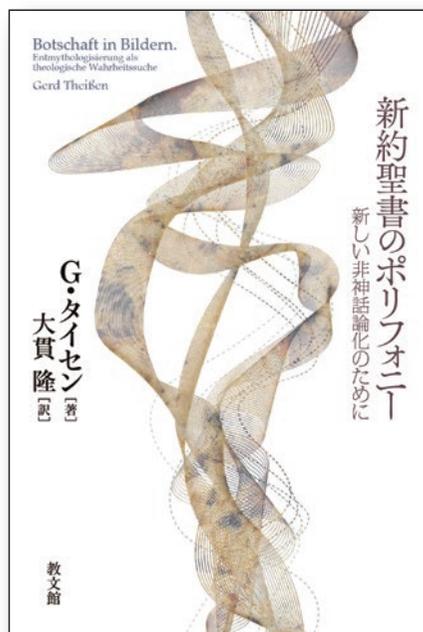
四六判・並製・168頁・定価2,090円(本体1,900円+税) ISBN978-4-7642-6164-8 C0016

新約聖書のポリフォニー

——新しい非神話論化のために

Botschaft in Bildern: Entmythologisierung als theologische Wahrheitssuche.

G. タイセン 著 大貫 隆 訳



比喩の中に見出される宗教的「共鳴」

R. ブルトマンによる非神話論化が本来目指していたものとは何か？ 神話的比喩表現を真理探求の試みとして理解することで、キリスト教信仰の三位一体論的表現に新たな光を当て、人間の真の「いのち」の実現を待望する。新約聖書学の泰斗が自身の神学の全体像を示した最新の論考！

《著者紹介》ゲルト・タイセン (Gerd Theißen) … 1943年ドイツ生まれ。ハイデルベルク大学名誉教授。著書に『イエス運動の社会学』(ヨルダン社)、『パウロ神学の心理学的側面』『新約聖書——歴史・文学・宗教』『イエスとパウロ』『パウロの弁護人』(教文館)、『原始キリスト教の心理学』『イエス運動』『聖書から聖餐へ』(新教出版社)ほか。
《訳者紹介》大貫 隆 (おおぬき・たかし) … 1945年静岡県生まれ。東京大学名誉教授。著書に『イエスという経験』『イエスの時』『聖書の読み方』(岩波書店)、『終末論の系譜』(筑摩書房)、『ロゴスとソフィア』『イエスの「神の国」のイメージ』(教文館)ほか。訳書に『ヨハネ文書』『ナグ・ハマデイ文書』全4巻(共訳、岩波書店)ほか。

四六判・上製・280頁・定価 3,960円 (本体 3,600円+税)・ISBN 978-4-7642-6751-0 C3016

古代末期・東方キリスト教論集

戸田聡 [著] A5判・上製・400頁・本体5,250円（税込定価5,775円）
ISBN 978-4-400-31094-5 C1016

「己れの研究の内容が、己れがキリスト者でありかつ日本人であるという事実にとれほど刺さっているか」——（あとがきより）

キリスト教修道制の成立をめぐる諸研究、『エジプト人マカリオス伝』や最初のシリア語キリスト教著作家バルダイサンに関する研究と原典翻訳、そのほか著者が企図するヴェーバー『宗教社会学論集』全訳をめぐる諸論考など、常に優れた成果を生み出してきた研究者の歩みを示す27編。

著者紹介 戸田 聡（とだ さとし）

東京大学経済学部卒。中小企業金融公庫（当時）勤務ののち、一橋大学大学院に進学、同中退ベルギー・ルーヴァンカトリック大学（フランス語圏）に留学し、同哲学・文学部東洋学研究所（当時）に在籍、1999年同特別学士課程修了。2003年オランダ・ライデン大学文学部（当時）博士課程に転籍、2006年同大学から文学博士号（doctor litterarum）を授与される。専門は古代キリスト教史、東方キリスト教文学。一橋大学他での非常勤講師等を経て2013年4月から北海道大学大学院文学研究科（現・文学研究院）教員、現在に至る。

著書：『キリスト教修道制の成立』（創文社、2008年）、*Vie de S. Macaire l'Egyptien. Edition et traduction des textes copte et syriaque* (Gorgias Press, 2012)、『砂漠に引きこもった人々 キリスト教聖人伝選集』（編訳。教文館、2016年）、『古代キリスト教研究論集』（北海道大学出版会、2021年）他。

訳書：K.S. フランク『修道院の歴史』（2002年）、J. ファン・デル・フリート『解説 ユダの福音書』（2007年）、A.H.M. ジョーンズ『ヨーロッパの改宗 —コンスタンティヌス《大帝》の生涯—』（以上教文館、2008年）、P. ブラウン『貧者を受愛する者 古代末期におけるキリスト教的慈善の誕生』（慶應義塾大学出版会、2012年）、H.-G. ベック『ビザンツ世界論 —ビザンツの千年—』（知泉書館、2014年）、M. ヴェーバー『宗教社会学論集 第1巻上』（北海道大学出版会、2019年）他。

【目次より】

第1部 キリスト教修道制、古代末期

- 第1章 禁欲主義という生き方
- 第2章 キリスト教修道制の成立と、なお残る問題
- 第3章 キリスト教修道制の成立——隠修制と共住制——
- 第4章 M. Weberにおける「禁欲」「修道制」概念
- 第5章 キリスト教にとって修道制は何を意味するか
- 第6章 キリスト教修道制におけるしあわせ？
- 第7章 Peter Brownの古代末期理解をめぐって
- 【書評】P・ブラウン『古代末期の形成』
- 【書評】長谷川宜之『ローマ帝国とアウグスティヌス』

第2部 東方キリスト教とその周辺

- 第1章 『エジプト人マカリオス伝』研究——経過報告——
- 第2章 『エジプト人マカリオス伝』をめぐる諸考察
- 第3章 翻訳か自国語か——東方キリスト教文学伝承の一齣——
- 第4章 東方キリスト教文学におけるアラビア語——翻訳との関係で——
- 第5章 東方キリスト教における聖人伝と翻訳
- 第6章 最初のシリア語キリスト教著作家バルダイサン——或いは、人文学の存在意義をめぐって——
- 第7章 【翻訳】バルダイサン『諸国の法の書』
- 第8章 最初のシリア語キリスト教著作家バルダイサンの知的背景
- 第9章 東方キリスト教をめぐって
- 【書評】久松英二『祈りの心身技法』
- 【書評】Goehring & Timbie (eds.), *The World of Early Egyptian Christianity*
- 【書評】青木健『マニ教』
- 【書評】小杉泰・林佳世子編『イスラーム 書物の歴史』

第3部 その他

- 第1章 イスラム教徒から批判された教皇ベネディクト16世の講演
- 第2章 宗教を研究し教えることに何の意味があるか
- 第3章 なぜ今 Weber『宗教社会学論集』の新訳が必要か
- 第4章 ヴェーバー『宗教社会学論集』第1巻上（拙訳）への註記及び覚書
- 【書評】キリスト教史学会編『マックス・ヴェーバー「倫理」論文を読み解く』

アメリカ・ キリスト教 入門

大宮有博 [著]
Tomihiro Omiya



アメリカ・ キリスト教入門



『アメリカのキリスト教がわかる』が
さらに詳しく、わかりやすくなって登場!!

アメリカの政策を知る上で切り離すことができない、アメリカ・キリスト教。その歴史を、「ピューリタンたちによるイギリス人植民地の誕生」から「バイデン大統領の時代」まで、専門用語をなるべく避け、初学者にもわかりやすく解説。アメリカ文化のみならず、日本各地の教会やキリスト教主義学校、病院の背景、さらには、世界情勢を知る鍵にもなる一冊。

目次

- | | | | |
|-----|--------------------|------|------------------|
| 第1章 | イギリス人植民地の誕生とピューリタン | 第7章 | 産業発展期のキリスト教 |
| 第2章 | 大覚醒とアメリカ独立 | 第8章 | プロテスタントにおける新しい潮流 |
| 第3章 | リバイバルと南北戦争 | 第9章 | 二つの世界大戦から冷戦 |
| 第4章 | アフリカンアメリカンの教会 | 第10章 | 変革の時 |
| 第5章 | 移民の宗教 | 第11章 | 政治化したファンダメンタリスト |
| 第6章 | 世界に広がるアメリカのキリスト教 | 第12章 | 9.11からバイデンの時代へ |

【著者】

大宮有博(おおみや・ともひろ)

1970年大阪生まれ。関西学院大学大学院神学研究科博士前期修了。

Graduate Theological Union。2003年London Bible College。Asbury Theological Seminaryなどで学び、現在、関西学院大学法学部教員。

より深い聖書の世界が見えてくる！
好評のシリーズ、第3弾



A5判 70頁 定価990円(本体900円+税)
ISBN978-4-264-04363-8 C0016
いのちのことば社 卸コード02200

みことば

聖書翻訳の研究 第3号

新日本聖書刊行会 編

ハバクク3章についての新改訳2017と協会共同訳の比較／「する」「している」「した」「している」が表す意味の分析／それを踏まえて新改訳2017で修正した訳文の解説——何気なく使っている日本語、読み過ごしていた聖句を改めて考える3つの論文を収録。

[執筆者]

津村俊夫 (つむら・としお)
聖書宣教会・聖書学研究所所長

岩本遠億 (いわもと・えのく)
神田外語大学大学院言語科学研究科教授

松本 曜 (まつもと・よう)
国立国語研究所教授